

洛和会音羽病院

地域連携ニュース



8

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <http://www.rakuwa.or.jp/>

2018 August

京都下肢創傷センター

傷ができる前に 創傷センターへ

京都下肢創傷センター センター長
兼 洛和会音羽記念病院 皮膚科 部長
まつばら くにひこ
松原 邦彦 (写真後列右から2人目)

京都下肢創傷センターは、糖尿病、動脈硬化症、透析、静脈うっ滞、リンパ浮腫などを背景にした難治性の足潰瘍を集学的に治療する組織です。

意外に思われるかもしれませんが、主訴が「足の傷」ではない患者さんが多いのです。たとえば「巻爪が痛い」「足が冷える」「むくんで履物がきつい」などの訴えから重症虚血肢や下肢静脈瘤の治療につながる場合があります。



ます。「足の変形」や「たこ、うおのめ」が糖尿病性神経障害のために起きている患者さんには早めに除圧用装具を作製しますし、透析患者さんは症状が軽いうちに数カ月ごとに下肢カテーテル治療を繰り返しながら悪化を防ぎます。このように「傷ができる前」の段階で早めに介入できることが当センターの強みです。

通院困難な透析患者さんは、洛和会音羽記念病院にて送迎サービス付きのゲスト透析にて評価させていただきます。またカテーテル治療が目的の場合には洛和会音羽病院の送迎サービスもご利用いただけます。お気軽にご紹介いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

今後求められる当院の救急救命士

洛和会音羽病院では2015(平成27)年に救命救急室を立ち上げました。
 現在は救急救命士5人と事務スタッフ2人で、主にドクターカーの運用を行っています。病病連携・病診連携はもちろんのこと介護施設からの搬送依頼も増加し、**昨年度は700件の患者搬送**を行いました。搬送数増加の背景には、画像伝送システム導入などによる搬送の質の向上があります。同システムでは患者搬送の際、バイタルサインなどの情報が救命救急センター・京都ERに送られますので、病院到着までに救急医が患者情報を得る事ができ、初期診療の時間短縮、ひいては患者さんの予後の向上につながっています。さらに救助現場に医師がドクターカーなどで出動し高度な治療を始められるように平成30年度「**救急事故に伴う医師等の協力に関する協定**」を京都市・京都市消防局と締結しました。

今後、プレホスピタルで求められる救急搬送バックアップを行ってまいります。



洛和会音羽病院 救命救急室



洛和会音羽病院では9月21日に地域の区役所・消防署・警察署にもご参加いただき、**総合防災訓練を実施**致します。ぜひ、ご見学いただければ幸いです。

救命救急センター・京都ERより 開業医の先生方へのお願い



平素より小児医療にご尽力いただきありがとうございます。
 救命救急センター・京都ERへの中学生以下の患者さんのご紹介(外傷は除く)は
月・火・木曜日は午後8時まで、水・金・土曜日は終日小児科医が待機して対応いたします。
 何とぞ、ご協力よろしくお願い申し上げます。

月	火	水	木	金	土
午後8時まで	午後8時まで	小児科当直	午後8時まで	小児科当直	小児科当直

洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間 月～金曜日：午前8時30分～午後8時
 土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先

地域連携課直通
TEL 075(593)7725
FAX 075(593)4160
E-mail otowa@rakuwa.or.jp

ご意見・ご質問・ご要望などございましたらお申し付けください。

医療機関予約専用フリーダイヤル **0120(607)489**